

CHANGE

◇ 保護者会総会に寄せて

今の時期は、七十二候で「蚯蚓出(みみずいずる)」に当たります。多くの虫たちが春先に目覚めるのに対し、蚯蚓(みみず)が夏から活動を活発にすることに由来して名づけられたそうです。万人受けしない見た目の蚯蚓ですが、土を肥やし・豊かにしてくれることから、農業ではありがたい存在です。目が見えない蚯蚓は光を感じながら、主に土の中を動き回るのだそうです。

多分にして蚯蚓は、餌を求めて動き、単に排泄をしているだけなのだと思います。それが結果として、生き物の生活を下支えする“仕事”をしているに過ぎないのでしょうか。私たちが前向きに取り組んでいることが、誰かの支えや励みになっている。太古から生きる蚯蚓の生態から、そう教えられたような気がします。



◇ データで見る、学年の現状

● 4月の集計(在籍461名)

欠席	平均6人/日
遅刻	平均3人/日

● 1・2年生の学習状況

評定平均(学年平均値)	3.5
約4割の生徒がいる範囲	3.1~3.8

皆様のお陰様を持ちまして、欠席・遅刻共に少なく、4月を終えることができました。5月に入り、少しずつ慣れが出てきた感もあります。

学習状況については、2年次の学習不振を挽回する努力が必要な生徒も多いようです。5月23日(火)からの定期試験に向けた取り組みと成果が、ご子息の進路選択の幅を広げる結果となるよう、ご家庭でもサポートをお願いします。

◇ 健康診断結果の対応について

4月当初に健康診断を実施いたしました。視力を始めとして、健康状態に改善が肝要となるものに注意・対応をいただくようお願いします。

健康状態は、調査書にも記載されるものがあります。職種や学部によっては、職業適性の一環として扱われ、それが不合格の誘因となる場合があります。

特に視力は、運転免許証取得時に矯正視力0.7以上が求められていることもあり、この機会に眼鏡・コンタクト等の準備をしておいても良いのではないのでしょうか。

就職の場合、8月には調査書を完成させます。それまでに健康状態が改善された場合は、視力検査の結果（証明書）や、治療勧告書の返信などを頂くことで、調査書の記載内容の更新を行います。

◇ 自動車運転免許の取得について

校則により、在学中の自動車運転免許の取得は禁止されています。ただし、普通免許及び準中型免許の取得については条件を定め、11月1日より保護者連署により許可制で取得を認めています。許可を受けるまでは、絶対に取得に関わる活動は行わないようにしてください。（指導の対象となり、進路に影響を及ぼしかねません。）



本校では、指定自動車学校を設け、費用の軽減と学業の優先ができる環境の確保を目指しております。指定自動車学校では例年、4月までに取得できるスケジュールを組んでいただいておりますので、ご安心ください。

◇ 進路決定に向けて、ご家庭にお願いしたいこと

- ① ご息子とのコミュニケーションの強化（言語・非言語コミュニケーション）
- ② 希望する進路先の候補を、5つ程度まで準備下さい（5月末を目安に準備を）
- ③ 志望先の情報収集・受験条件の掌握（親・大人の目線からの情報収集）
- ④ クラス担任との意見交換・情報共有（学校：052-322-1911）
- ⑤ 4S実践のサポート（整理・整頓・清掃・清潔）
- ⑥ 進路書類（履歴書・エントリーシート）・面接・作文などのアドバイス

☆ 就職を目指す

職に就くと書くことからわかるように、“役目とする仕事（職）に、とりかかる（就く）”ための活動となります。企業名や賃金だけに目を奪われることなく、本人の価値観や家族の意見を参考にしながら、丁寧な選択が求められます。

[会社選択をする際のチェックポイント（順不同）]

- ① 本人の適性 ② 勤務形態（交代制・フレックス制） ③ 離職率
- ④ 通勤にかかる時間 ⑤ 賃金の形態（月給、歩合制など）
- ⑥ 勤務時間・残業など ⑦ 入寮の可否 ⑧ 会社の将来性

[受験にあたって]

景気動向の改善とは裏腹に、決して楽観視できる状況にはありません。9月16日を皮切りに実施される一次応募に不合格となると、二次応募（10月頃に再応募）は、募集職種や応募倍率・精神的負担などにより、苦しくなることは間違いありません。

過去の例を振り返ると、一般常識（マナー）や適性の欠如、学力試験の得点力不足が不合格となる大きな要因となっています。“一次試験で絶対に合格する！”という覚悟と、それに向けた綿密な準備が合格の鍵を握ると言えるでしょう。

[不合格となった場合]

求人数5名と広告されていても、企業の募集基準に合致しない場合は4名しか内定を出さない場合があります。残念ながら不合格となった場合は、二次募集を実施する企業から選択して、改めて応募することが出来ます。また、その時点で応募が可能な大学・専門学校などに進路を切り替えることも可能です。

[高校生の就職ルールを守ってください]

高校生の就職は、勉学の機会を確保することなどから、独特のルールが存在します。加えて、本校で定めた推薦ルールもありますので、キャリアビジョン・学年通信（4月20日号）等で確認をお願いします。違反があった場合は、その後の学校推薦（就職・進学含む）が適わなくなりますのでご承知おきください。

◇ 進学を目指す

[学校の選択]

高校までとは異なり、同じ学部をもつ学校であっても、学校によって学びの方向性や重点項目は千差万別です。“就職したくないから…。”、“みんなが行くから…”という理由だけ

表1 学校の種類と学び

四年制大学	●一般教養から専門領域まで幅広く学べる ●学術的・理論的な学習に力を入れている
短期大学	●一般教養から専門領域まで幅広く学べる ●職業や実際の生活に役立つ能力の育成に力を入れている。
専門学校	●特定職種の実務に必要な知識・技術を身につける ●実践的な教育機関といえる。

で進学をするのではなく、明確な目標を見据えた上で応募・進学をすることが、入学後のスムーズな学校生活に繋がると考えています。

校種によっては、入学後すぐに就職活動を行う必要が出る場合もあります。よって、就職までを見通した上で、学校を選択する必要もあるのではないのでしょうか。また、本校の過去の進学生徒は、推薦入試による受験が大半を占めます。その場合、面接やエントリーシート、小論文などで合否の判定を受けることになります。この点からも、就職希望者と同じペースで準備をしておくことが大切になるでしょう。

[就職との大きな違い]

ご息やご家庭に、率先して行動していただく部分が格段に違います。

- ① 受験料・入学金・授業料など、入学前から多額の出費が伴うこと。
- ② 資料請求や受験資格の獲得は各自で行う必要があること。
- ③ 学校毎に推薦基準・応募方法・期間・入試形態の設定が大きく異なること。
- ④ 専願と併願の別や、ご息の特長を発揮できる入試形態を見極めて頂くこと。
- ⑤ 複数校を、何度も見学することなどにより、多角的な比較が可能となること。